

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	158	2年	前期	看護学科	必修	臨床病態学Ⅲ Clinical Pathophysiology Ⅲ	30	1
担当教員								
草薙 康城	石田 也寸志							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として、実際の現場において、医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために、成人に特徴的な各種の疾患について、医療に携わるうえで必須な臨床医学の知識を獲得し、疾患の病態生理、診断法、治療法、予後が説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
①常に発育成長している小児に特徴的な疾患の病態、診断、治療法、予後について説明できる。								
②周産期医学の基本的知識である妊娠、分娩、産褥、新生児の生理、およびその時期に発生する疾患の病態、診断、治療法について説明できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	周産期領域（1）月経の起こるしくみと妊娠の生理について講義する。：草薙							
2回	周産期領域（2）流産、子宮外妊娠、妊娠悪阻の病態、診断、管理について講義する。：草薙							
3回	周産期領域（3）不妊症の病態。診断、治療および高度生殖医療について講義する。：草薙							
4回	周産期領域（4）正常妊娠における母体、胎児の変化と分娩のしくみおよび正常産褥期における体の変化について講義する。：草薙							

5回	周産期領域（5）分娩・産褥期におこる母体、胎児の生理と病理について講義する。：草薙								
6回	周産期領域（6）多胎妊娠の分類、リスク、管理、母児感染の種類と対策および妊娠高血圧症候群の病因、病態、診断、管理について講義する。：草薙								
7回	周産期領域（7）血液型不適合妊娠の病態、管理、糖尿病、自己免疫疾患、血液疾患、内分泌異常、循環器系疾患、精神疾患など合併妊娠の管理について講義する。：草薙								
8回	小児領域（1）染色体異常、先天異常の病態、診断、管理および新生児・低出生体重児の疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
9回	小児領域（2）貧血、出血性疾患、白血病の病態、診断、管理および悪性腫瘍の病態、診断、管理について講義する。：石田								
10回	小児領域（3）アレルギー疾患、原発性免疫不全症の病態、診断、管理およびリウマチ性疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
11回	小児領域（4）神経・筋疾患の病態、診断、管理および腎・泌尿器疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
12回	小児領域（5）先天代謝異常、代謝疾患の病態、診断、管理および内分泌疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
13回	小児領域（6）代表的な感染症の病態、診断、管理および呼吸器疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
14回	小児領域（7）代表的な消化器疾患(先天性を含む)の病態、診断、管理および先天性心疾患の病態、診断、管理について講義する。：石田								
15回	まとめ 日本における周産期医療の現状と今後について講義する。：草薙								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし合計60点以上を合格とする（草薙担当分野50点、石田担当分野25点）。									
教科書	必要に応じて提示する								
参考図書等	必要に応じて提示する								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
プリントを用いた復習が必須									
関連科目									
前科目	144 人体の構造・機能Ⅰ	145 人体の構造・機能Ⅱ	146 人体の構造・機能Ⅲ						
後科目	219 小児看護対象論	221 小児看護方法論	223 母性看護対象論	224 母性看護方法論Ⅰ	225 母性看護方法論Ⅱ				
実務家教員									
医師（医療機関）	草薙 康城	石田 也寸志							
備考	授業中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。								